

インフルエンザAに対する インフルエンザワクチン1回接種と 2回接種の有効率

高野智子

たかのこどもクリニック



第57回小児感染症学会学術集会 於舞浜 2025-11-9

第57回日本小児感染症学会

COI開示

発表者：高野智子

日本小児感染症学会の定める
利益相反に関する開示事項はありません



はじめに

- ◆ インフルエンザ(Flu)ワクチンの接種回数はWHO やCDCでは9歳未満で初めて接種する場合は2回接種、9歳以上または過去に接種歴がある場合は1回接種を推奨している。
- ◆ 日本では13歳未満には2回接種、13歳以上には1回接種になっている。
- ◆ 当院では2024/25シーズンのFluワクチンにおいて、過去に2回接種のある3歳以上は1回接種でもよいとアナウンスしていた。
- ◆ 当院患者にてFluワクチンの1回接種と2回接種のFlu Aに対する有効率を比較した。

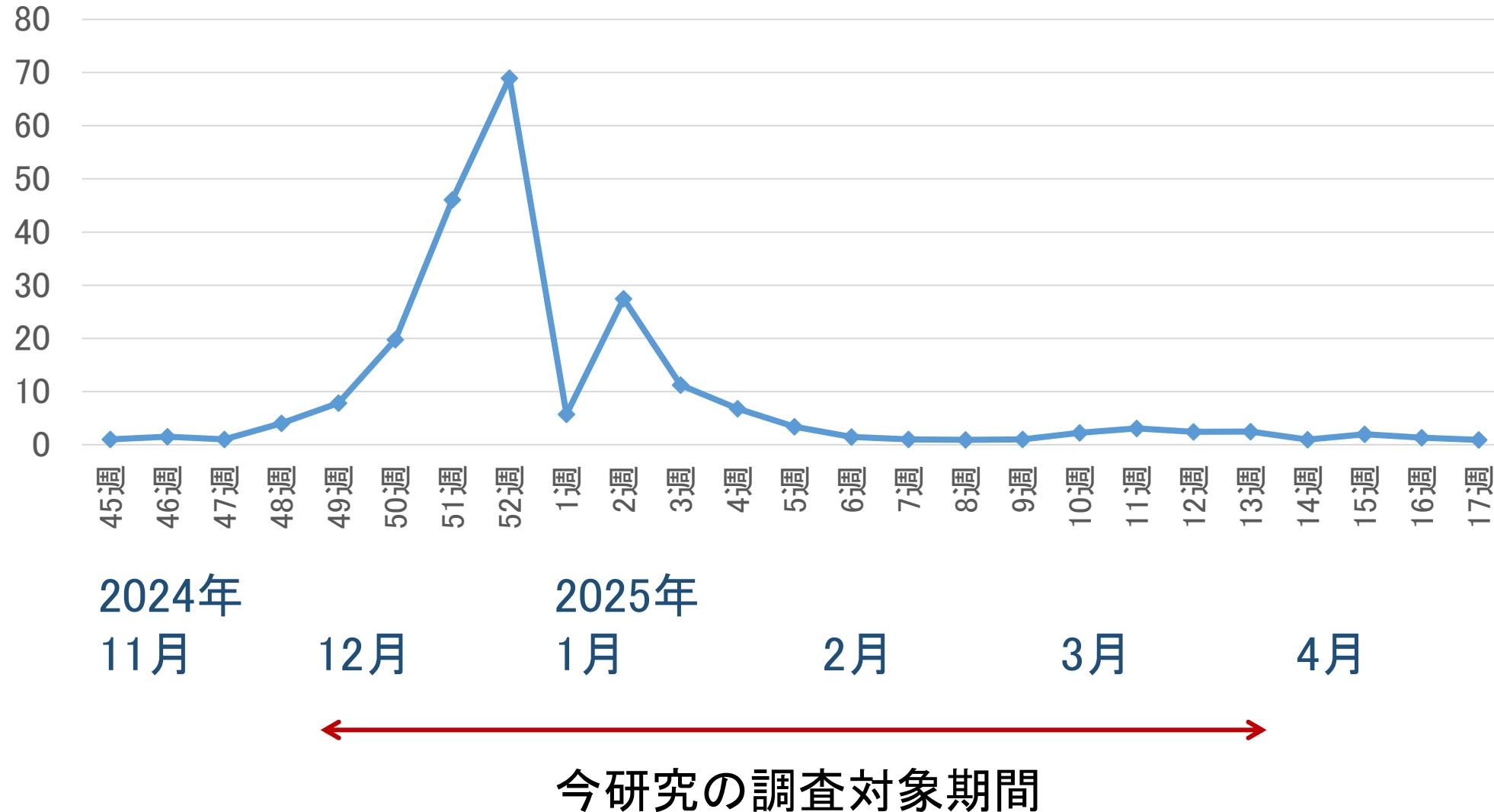


方法

- ◆ 対象は2024年12月から2025年3月に当院を受診し、発熱があり Flu抗原検査を行った症例とし、患者情報はカルテより後方視的に抽出した。
- ◆ Fluワクチンの接種回数はカルテまたは口頭にて確認した。
- ◆ 神戸市のインフルエンザ流行状況は神戸市感染症統合情報システムから抽出した。
- ◆ ワクチンの有効率はtest negative control studyを用いた。
- ◆ 検定はFisher直接確率検定を用いた。



2024/25シーズンの神戸市における インフルエンザの流行状況



調査対象

2024年12月～2025年3月
インフルエンザ検査 1200例

ワクチン接種歴不明 98例
経鼻生インフルエンザワクチン接種 1例

インフルエンザ検査 1101例

年齢中央値 6歳(0～16歳)

男児/女児 572/529

インフルエンザA陽性 484

インフルエンザB陽性 22

陰性 595

陽性率 46%

ワクチン1回接種 227

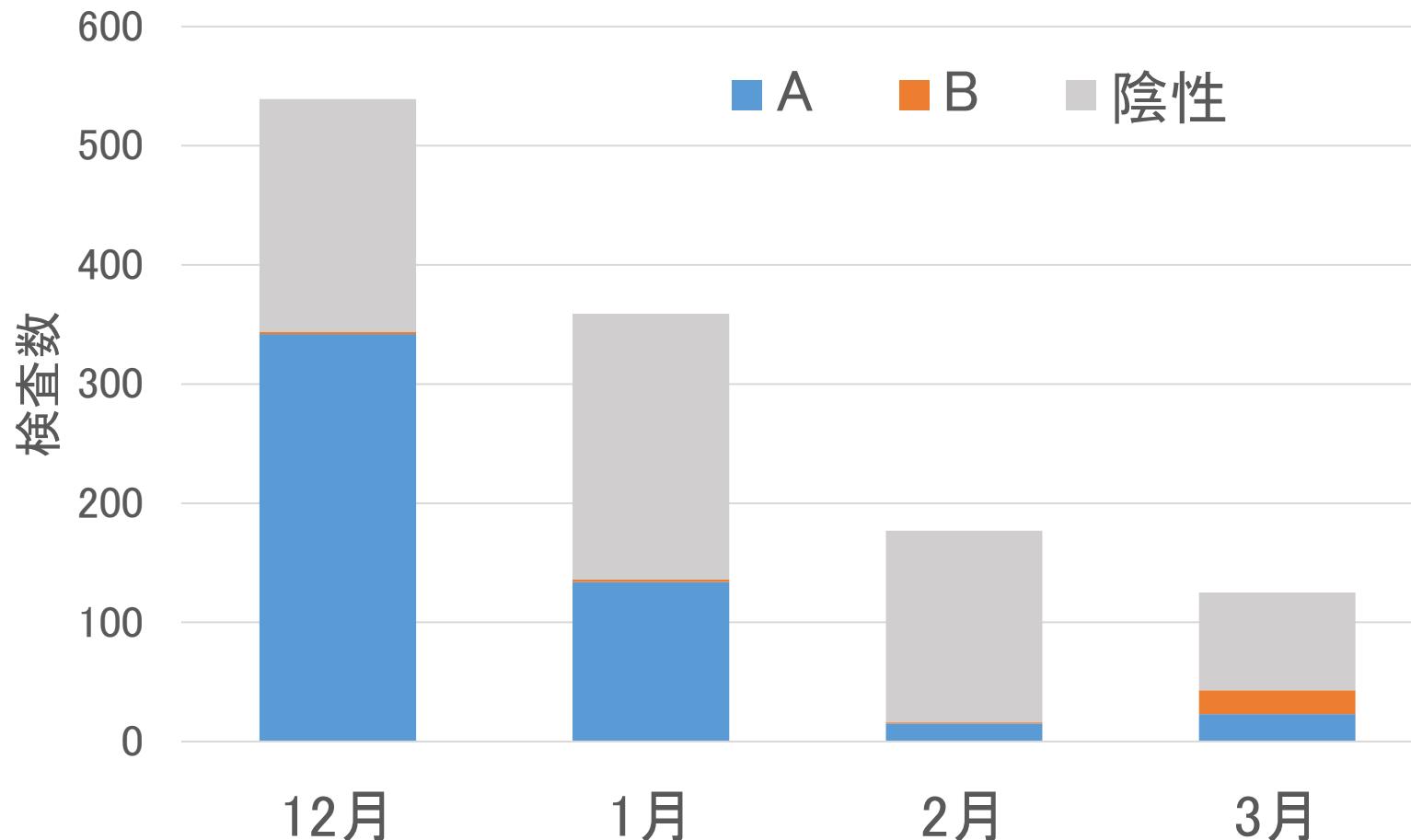
ワクチン2回接種 303

未接種 671

ワクチン接種率 39%



当院におけるインフルエンザ検査陽性数と陽性率



検査陽性率(%)	64	38	9	34
Fluワクチン接種率(%)	33	43	46	42



FluAに対するインフルエンザワクチンの有効率

0~16歳

ワクチン接種 状況	FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比 [95%信頼区間]	P値	有効率(%) [95%信頼区間]
未接種	337	317			
1回接種	97	126	0.72 [0.53-0.98]	0.044	28 [2-47]
2回接種	50	152	0.31 [0.22-0.44]	<0.001	69 [56-78]

p<0.001



FluAに対する年齢による1回接種と2回接種の有効率

0~2歳

ワクチン接種 状況	FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比 [95%信頼区間]	P値	有効率(%) [95%信頼区間]
未接種	63	101			
1回接種	3	13	0.37 [0.10–1.35]	0.174	63
2回接種	10	61	0.26 [0.13–0.55]	<0.001	74 [45–87]

n.s.

3~12歳

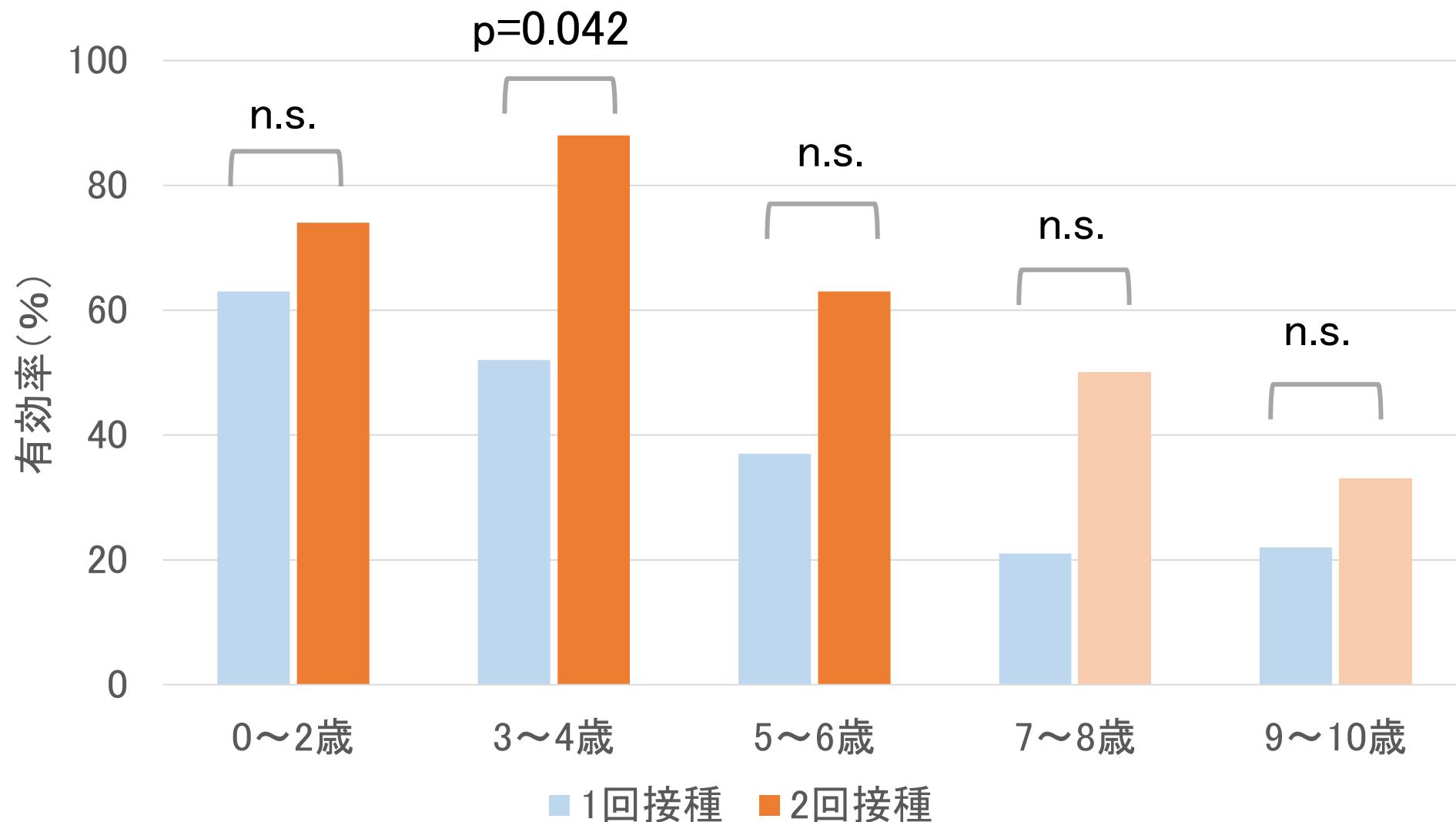
ワクチン接種 状況	FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比 [95%信頼区間]	P値	有効率(%) [95%信頼区間]
未接種	243	197			
1回接種	83	96	0.70 [0.49–0.99]	0.051	30 [1–51]
2回接種	40	91	0.36 [0.23–0.54]	<0.001	69 [56–77]

$P = 0.005$

FluAに対する年齢ごとの1回接種と2回接種の有効率

ワクチン接種状況		FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比[95%信頼区間]	P値	有効率(%)[95%信頼区間]
3~4歳	未接種	54	63			
	1回接種	11	27	0.48 [0.22–1.05]	0.088	52
	2回接種	3	30	0.12 [0.03–0.40]	<0.001	88 [60–97]
5~6歳	未接種	63	38			
	1回接種	22	21	0.63 [0.31–1.30]	n.s.	37
	2回接種	18	29	0.37 [0.18–0.76]	0.008	63 [24–82]
7~8歳	未接種	43	40			
	1回接種	22	26	0.79 [0.39–1.61]	n.s.	21
	2回接種	8	15	0.50 [0.19–1.30]	n.s.	50
9~10歳	未接種	42	28			
	1回接種	14	12	0.78 [0.31–1.93]	n.s.	22
	2回接種	10	10	0.67 [0.25–1.81]	n.s.	33

FluAに対する年齢ごとの1回接種と2回接種の有効率



FluAに対する流行状況による1回接種と2回接種の有効率

12月

ワクチン接種 状況	FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比 [95%信頼区間]	P値	有効率(%) [95%信頼区間]
未接種	228	96			
1回接種	65	41	0.67 [0.42–1.05]	0.093	33
2回接種	27	25	0.46 [0.25–0.82]	0.011	54 [18–75]

n.s.

1~3月

ワクチン接種 状況	FluA陽性	FluAB陰性	オッズ比 [95%信頼区間]	P値	有効率(%) [95%信頼区間]
未接種	109	221			
1回接種	32	85	0.76 [0.48–1.22]	n.s.	30 [1–51]
2回接種	23	127	0.37 [0.22–0.61]	<0.001	63 [39–78]

P=0.022

まとめ

- ◆ Fluワクチン2回接種の方が1回接種に比べ、有効率が有意に高かった。
- ◆ 年齢の上昇とともにFluワクチンの有効率は低下した。
- ◆ 2回接種が有効であるのは6歳以下の低年齢である。
- ◆ Flu最流行期にはワクチン有効率、2回接種有効率が低下する。

当院の今シーズンのインフルエンザワクチン接種回数のおすすめ

- 未就学児 →2回接種
- 6~10歳未満→過去に2回接種歴ある人は1回接種
- 10歳以上 →1回接種

